

第1部 沖縄観光の現状と課題

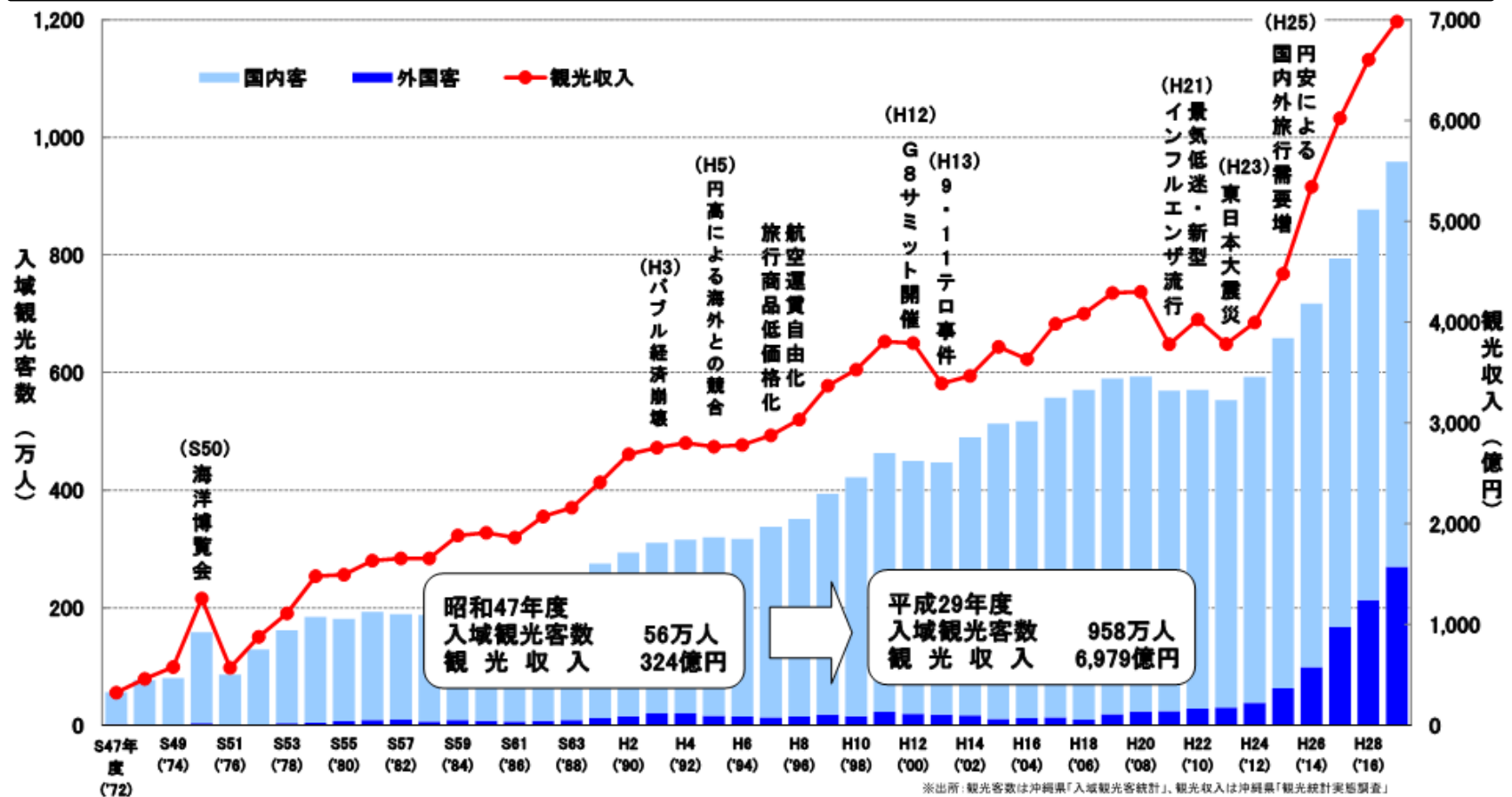
(1)沖縄観光のこれまでの推移

(入域観光客数)

・55.9万人(昭和47年度)→958.0万人(平成29年度 17.2倍)

(観光収入)

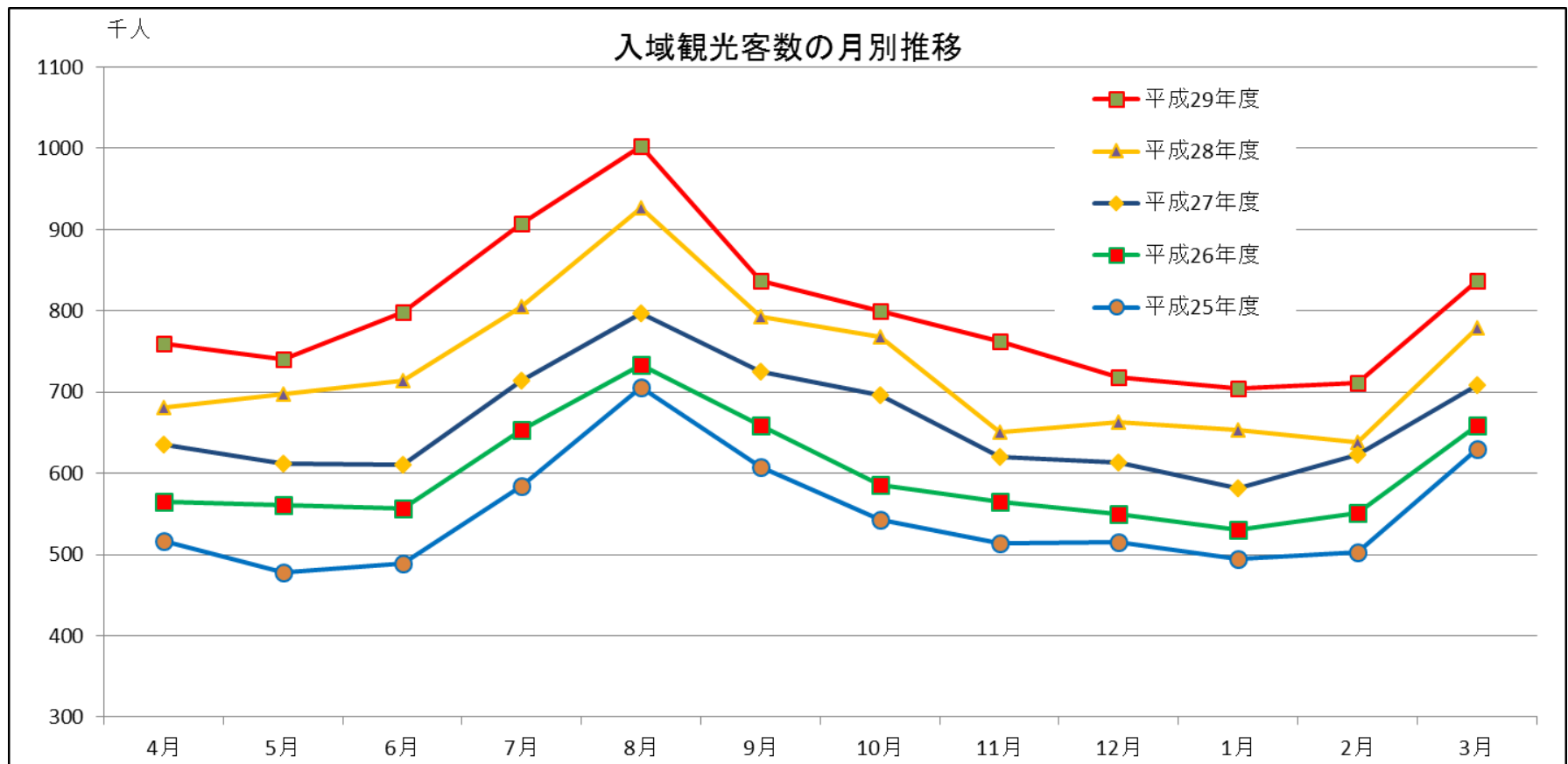
・324億円(昭和47年度)→6,979億円(平成29年度 21.5倍)



(2) 平成29年度 沖縄観光の動向①(概況)

入域観光客数 957万9,900人(対前年度比81万700人、9.2%増)

⇒初の900万人台を記録し、5年連続で過去最高を更新。全ての月において前年同月を上回り、8月は初めて単月で100万人を突破



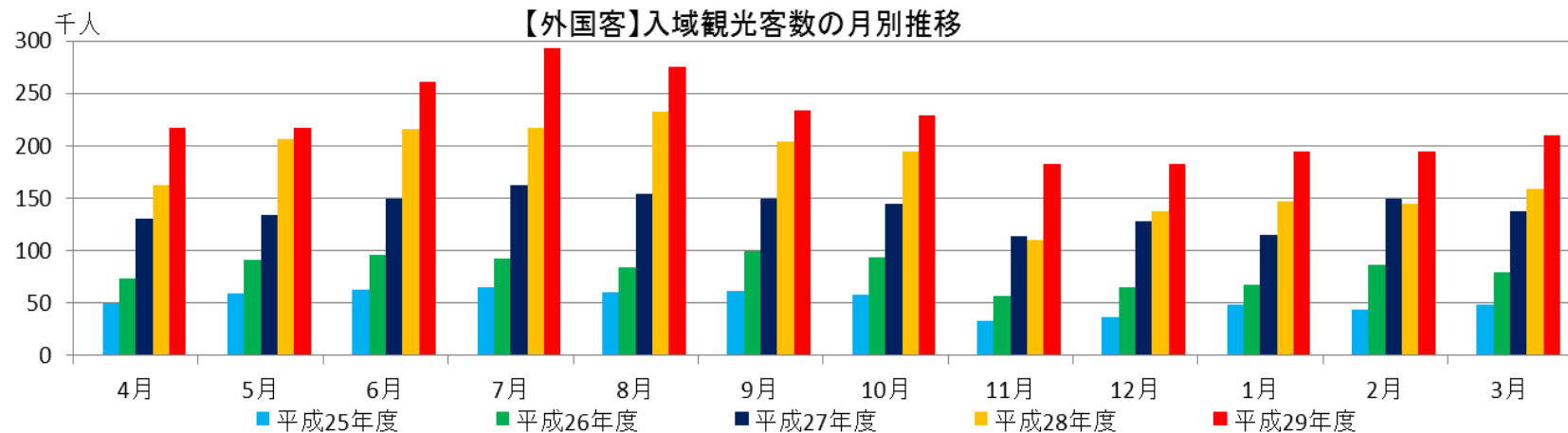
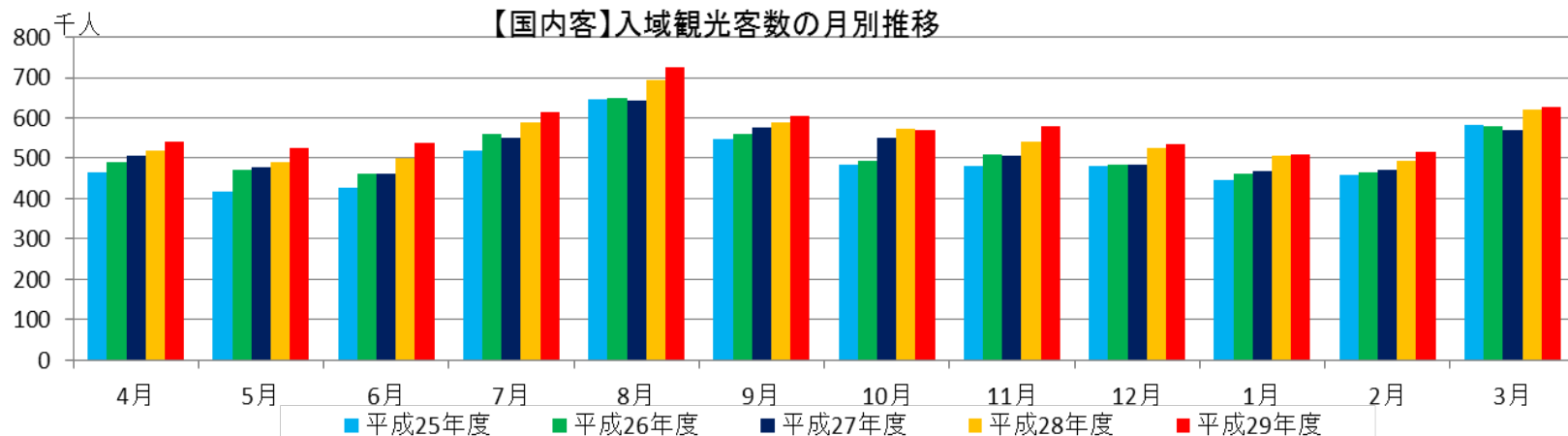
(2)平成29年度 沖縄観光の動向②(概況)

- 国内客は、688万7,900人(対前年度比24万7,800人、3.7%増) ⇒ 過去最高
- 外国客は、269万2,000人(対前年度比56万2,900人、26.4%増) ⇒ 過去最高(増要因)

共通: 行政や民間が一体となったプロモーション活動により、沖縄の認知度向上や旅行意欲の喚起を図ったこと

国内客: 台風の影響があったものの、景気回復基調が継続したこと

外国客: 訪日旅行人気の継続、沖縄発着航空路線の拡充、クルーズ船の寄港回数増



(2) 平成29年度 沖縄観光の動向③(国籍・地域別)

○入域観光客数は、台湾、中国本土、韓国、香港の順に多く、いずれも過去最高。

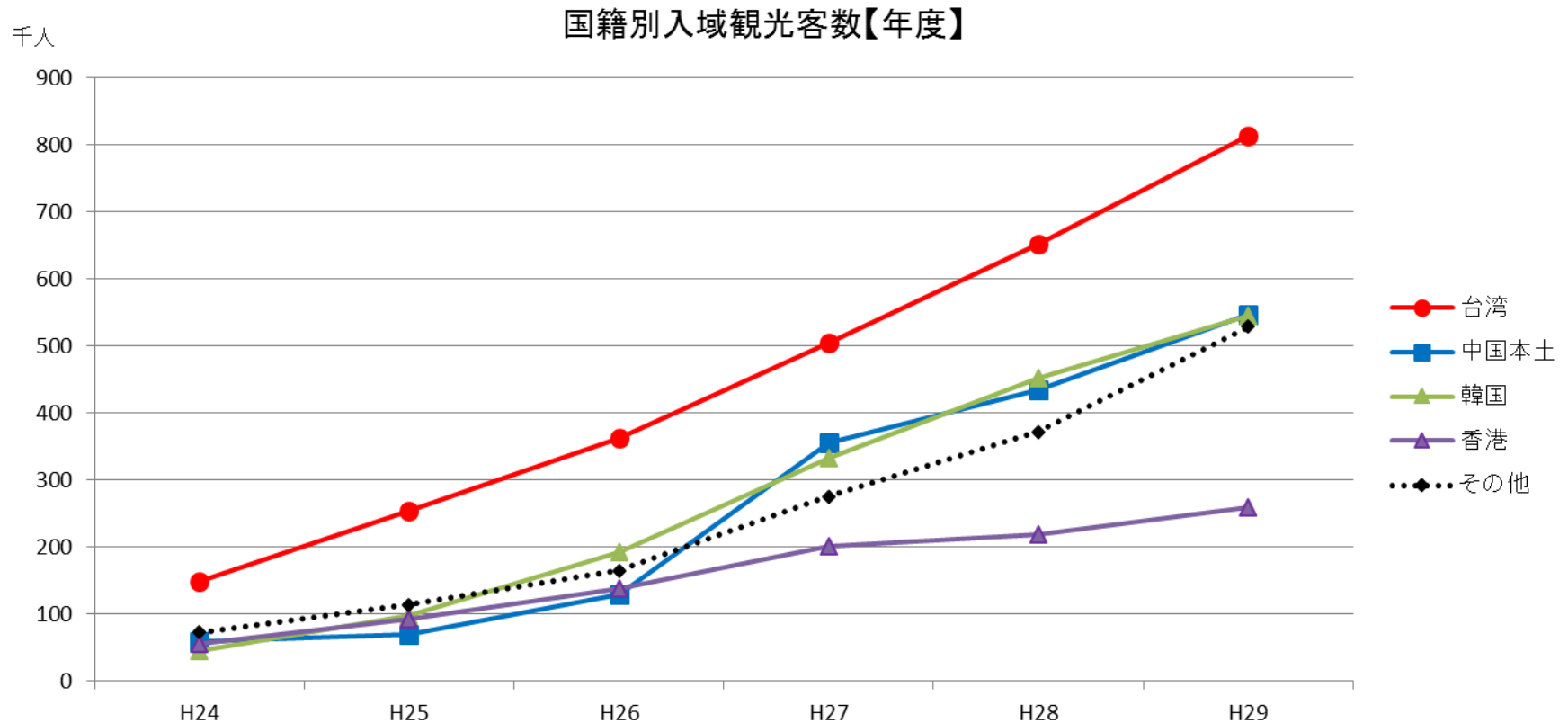
(増要因)

〈台湾〉 高雄-那覇路線の新規就航(タイガーエアー台湾)、クルーズ船の寄港回数増

〈中国本土〉 西安-那覇路線の新規就航(中国東方航空)、クルーズ船の寄港回数増

〈韓国〉 大邱-那覇路線の新規就航(ティーウェイ航空)

〈香港〉 香港-石垣路線の通年化(香港エクスプレス)



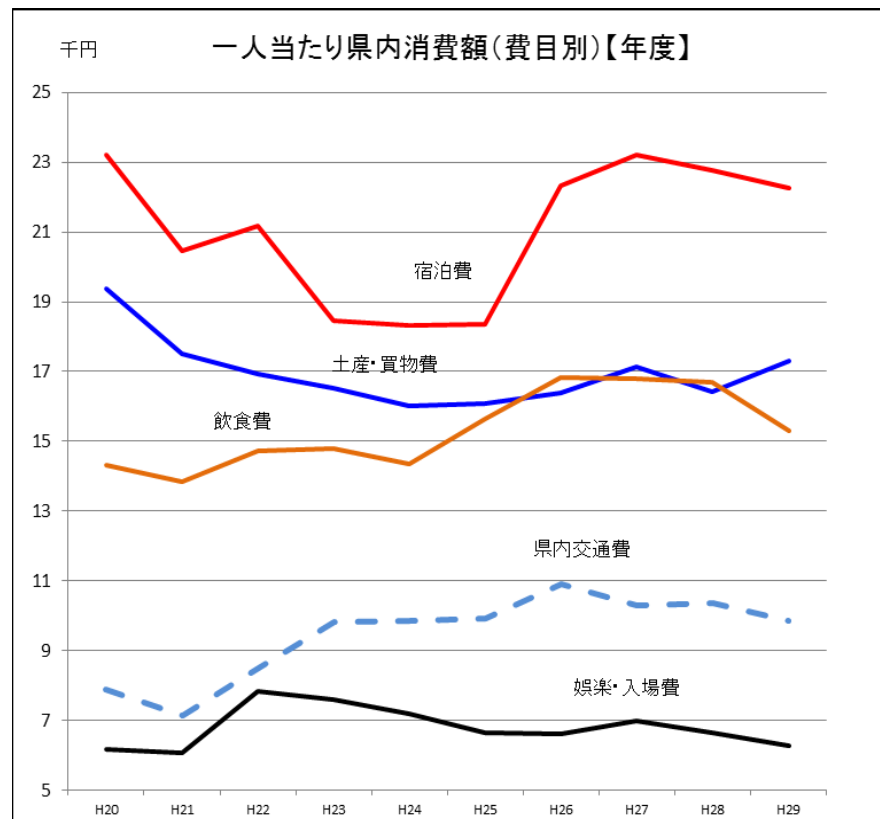
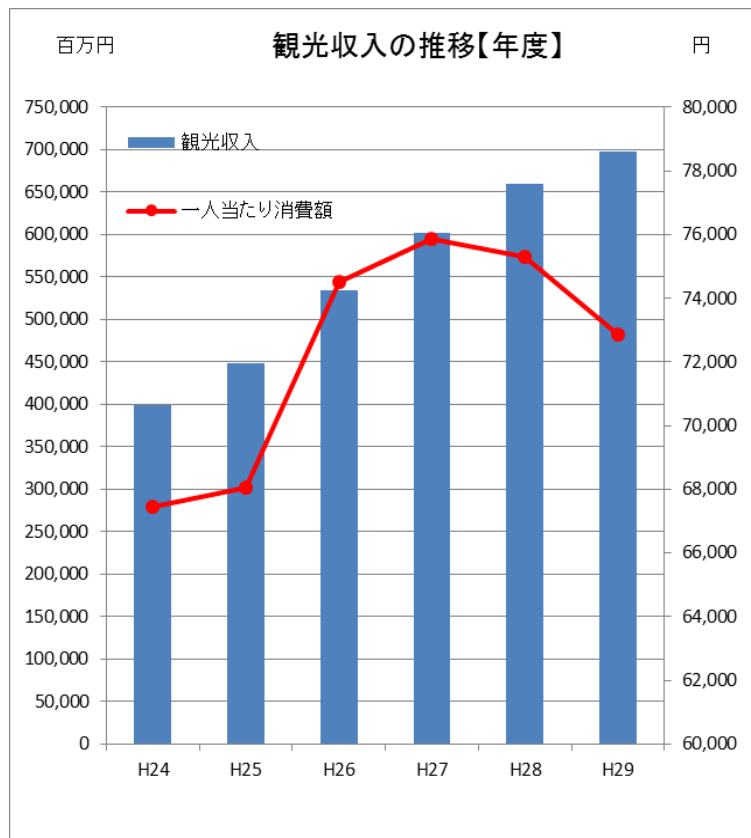
(2) 平成29年度 沖縄観光の動向④（観光収入）

○観光収入 6,979億2,400万円（対前年度比376億3,000万円、5.7%増）

⇒5年連続で過去最高

○観光客一人当たり県内消費額 72,853円（対前年度比2,444円、3.2%減）

・「土産・買物費」で5.4%増加したものの、「宿泊費」2.2%減、「飲食費」8.4%減、「県内交通費」4.7%減、「娯楽・入場費」5.9%減

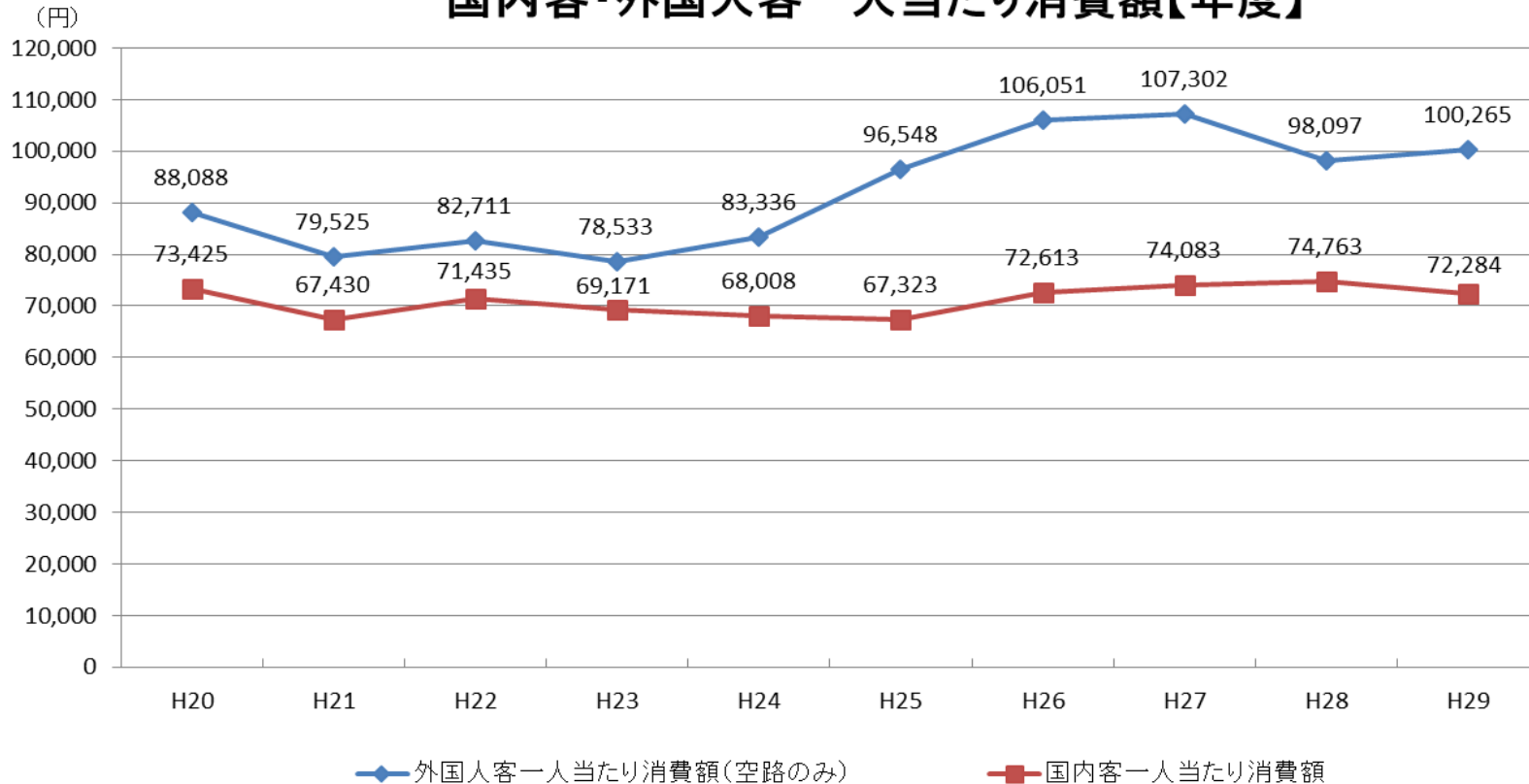


(2)平成29年度 沖縄観光の動向⑤

○一人当たりの消費額(空路)

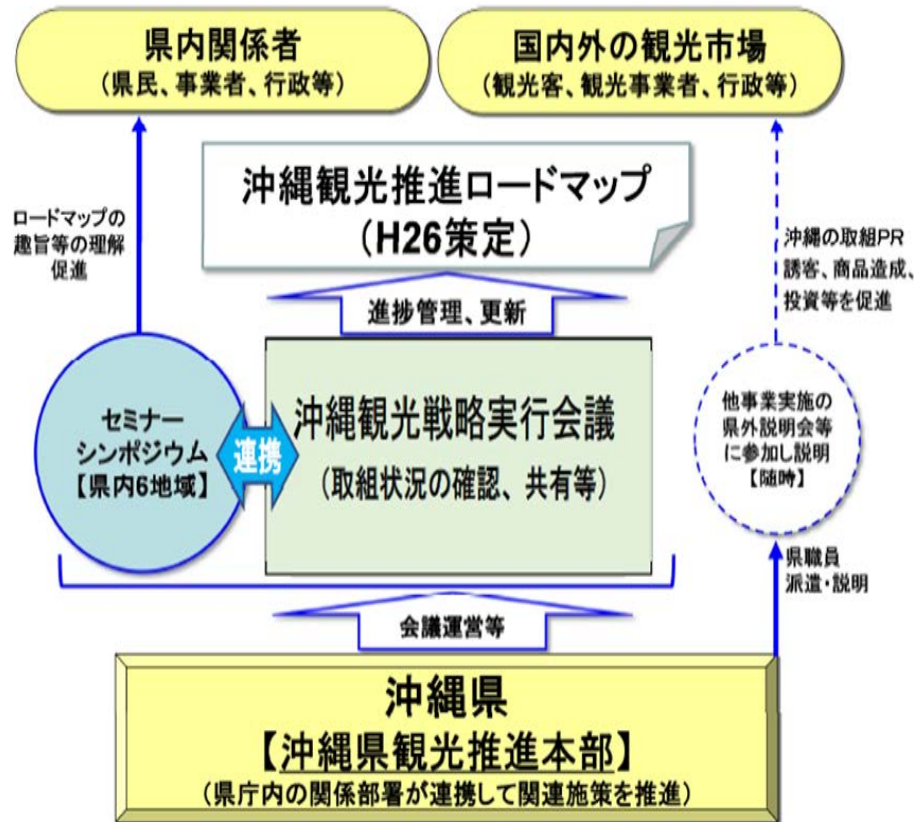
- ・国内客: 72,284円(前年度比2,479円、3.3%減)
⇒ 4年連続で7万円台
- ・外国人客(空路): 100,265円(前年度比2,168円、2.2%増)
⇒ 国内客と比較して2万円余り高く、経済効果大

国内客・外国人客一人当たり消費額【年度】

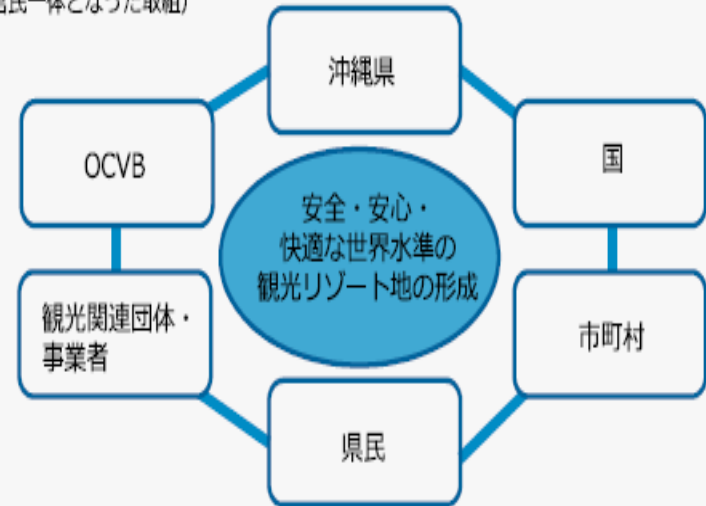


(2)平成29年度 沖縄観光の動向⑥

- 「沖縄観光推進ロードマップ」(平成27年3月沖縄県策定)
 - ・目的: 目標の達成を目指し、官民一体となって中長期的、段階的に誘客及び受入体制整備等の観光振興施策を推進すること
 - ・平成33年度目標: 観光収入1.1兆円、入域観光客数1,200万人(第5次沖縄県観光振興基本計画)
- 「沖縄県観光危機管理基本計画」(平成27年3月沖縄県策定)
 - ・目的: 観光産業に負の影響を与える台風、地震、津波、航空機・船舶事故、感染症等の観光危機に関し、観光危機管理の基本的な対応等を定め、観光客の安全・安心が守られる観光地の形成を図ること



- 【観光危機管理対策】
- 〈主な取組〉
- ① 平常時の減災対策
 - ② 観光危機発生時における観光客への情報発信、避難誘導・安全確保、帰宅困難者対策等の観光危機管理対策
 - ③ 観光危機後の風評被害対策、観光産業の早期復興・事業継続支援等の対策
- (官民一体となった取組)

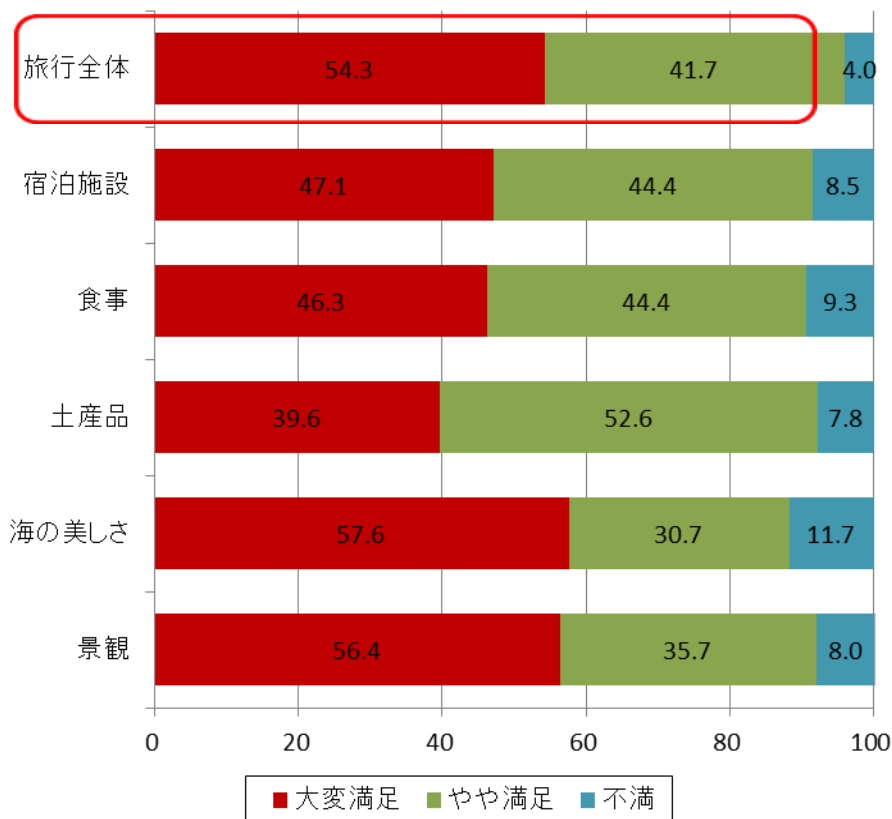


(3)平成29年度 国内観光客の動向

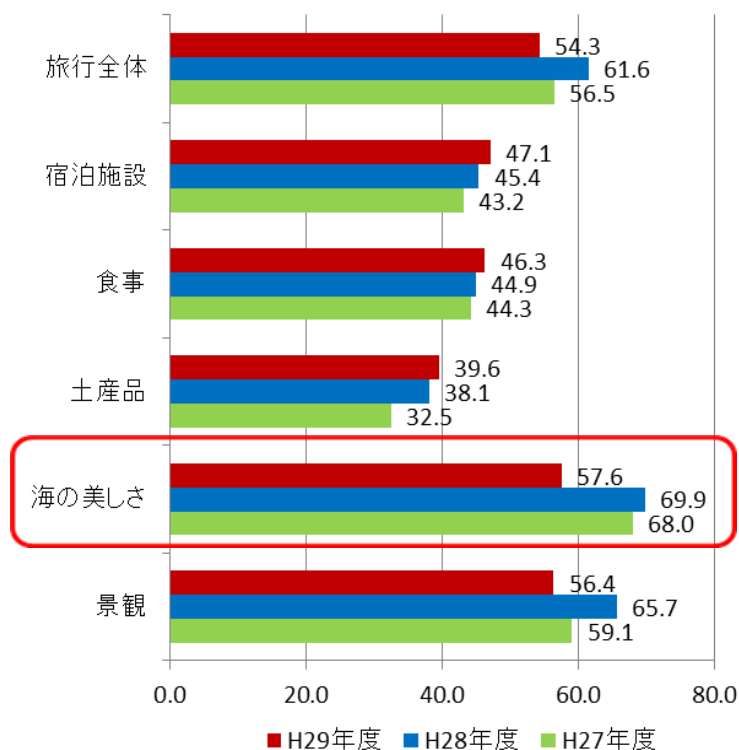
○国内観光客の満足度

- ・「大変満足」、「やや満足」を合わせると96%
 - ・「海的美しさ」で「大変満足」の比率が最も高く、「土産品」は低い。
- 前年度と比較して「海的美しさ」と「景観」で満足度が低下

沖縄観光の満足度(国内客)



沖縄観光の満足度(経年変化)
(「大変満足」と回答した比率)

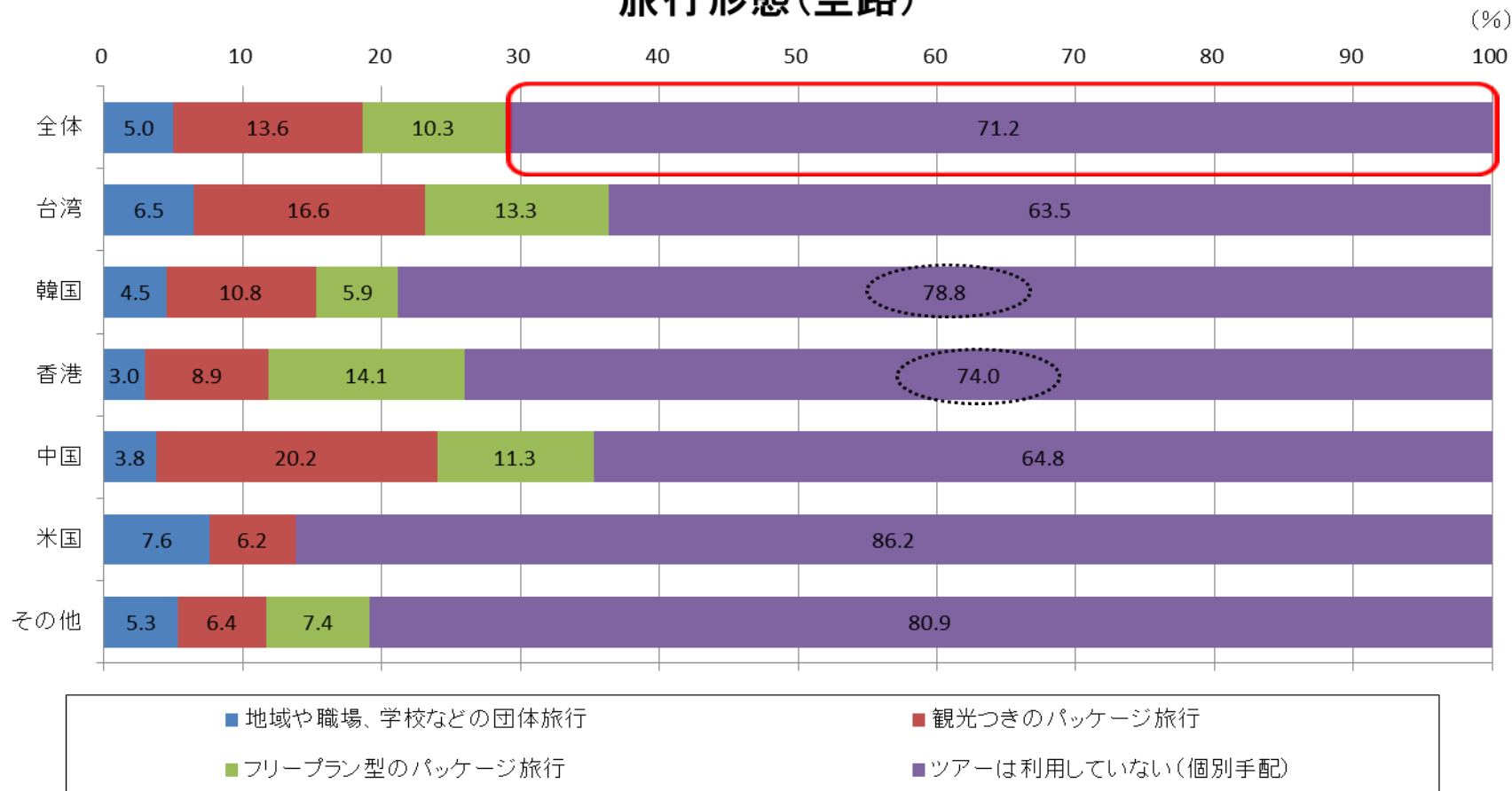


(4)平成29年度 外国人観光客の動向①

○外国人観光客の旅行形態(空路)

- ・「個別手配」が、全体の71.2%と多い。
- ・特に韓国(78.8%)、香港(74.0%)で個別手配の割合が高い。

旅行形態(空路)



出所: 沖縄県「平成29年度外国人観光客実態調査概要報告」に基づき沖縄総合事務局作成

※米国はサンプル数が少ないため参考表示

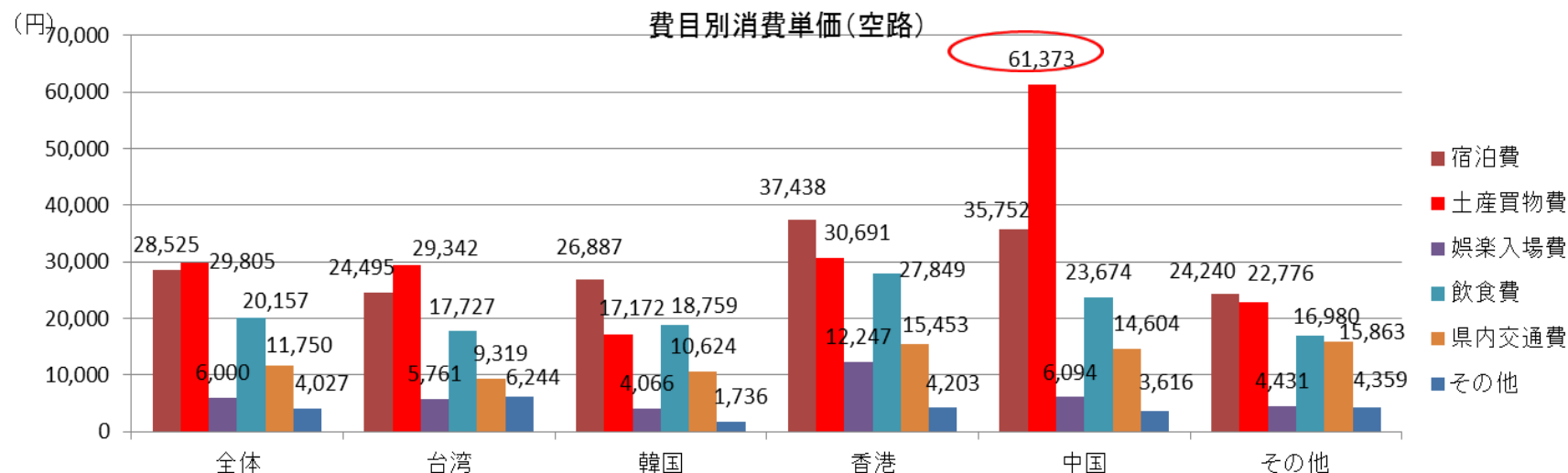
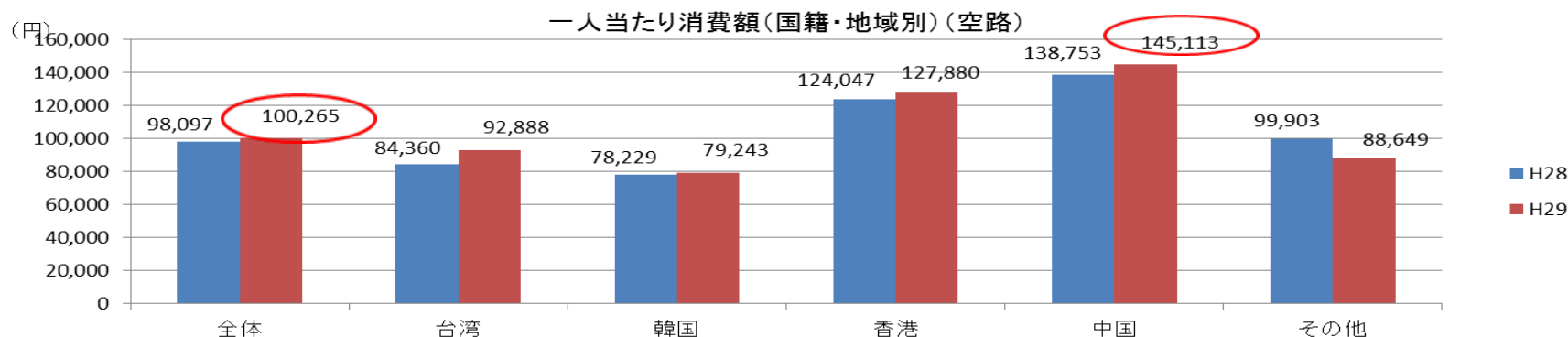
(4)平成29年度 外国人観光客の動向②

○外国人観光客一人当たりの消費額(空路)

・全体の消費単価 100,265円(前年度比2,168円、2.2%増)

※中国人観光客の消費単価が最も高く、全体の消費単価を押し上げている。

・費目別では中国人観光客の「土産買物費」が高めの傾向



(5) 沖縄観光の課題等

① 滞在日数の長期化

② 一人当たりの平均消費額の向上

③ 急増する外国人観光客の満足度の向上

・「交通機関」、「案内標識」、「外国語対応能力」への満足度の向上

④ 観光スタイルの変化、目的の多様化等への対応

・観光客の個人旅行へのシフト

⑤ 交通網の整備

第5次沖縄県観光振興基本計画の数値目標フレーム等

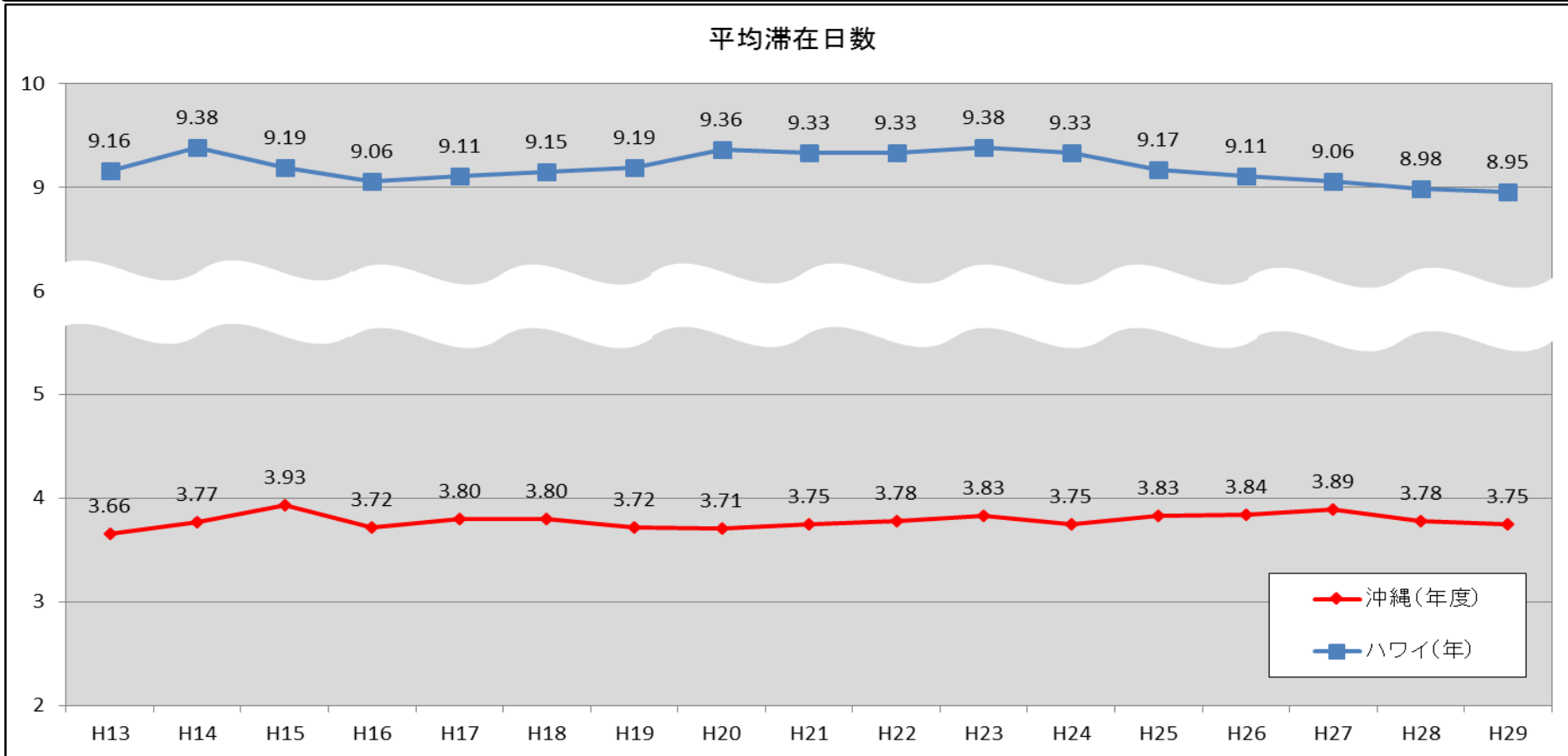
数値目標のフレーム

- (1) 観光収入： 1. 1兆円
- (2) 観光客一人当たり消費額： 93, 000円
- (3) 平均滞在日数： 4. 5日
- (4) 人泊数： 4, 200万人泊(うち国内客3, 200万人泊、外国空路客1, 000万人泊)
- (5) 入域観光客数： 1, 200万人(うち国内客800万人、外国客400万人)

観光振興の最大目標である「観光収入」は、「一人当たり消費額」×「観光客数」で算出されることから、一人当たり消費額と観光客数の両方を増加させることが政策課題

①滞在日数

平均滞在日数(国内客のみ)は、平成16年度以降は3.8日前後で推移



観光先進地であるハワイと比較した場合、半分以下(日本人に限っても約6割)の水準に留まっている。

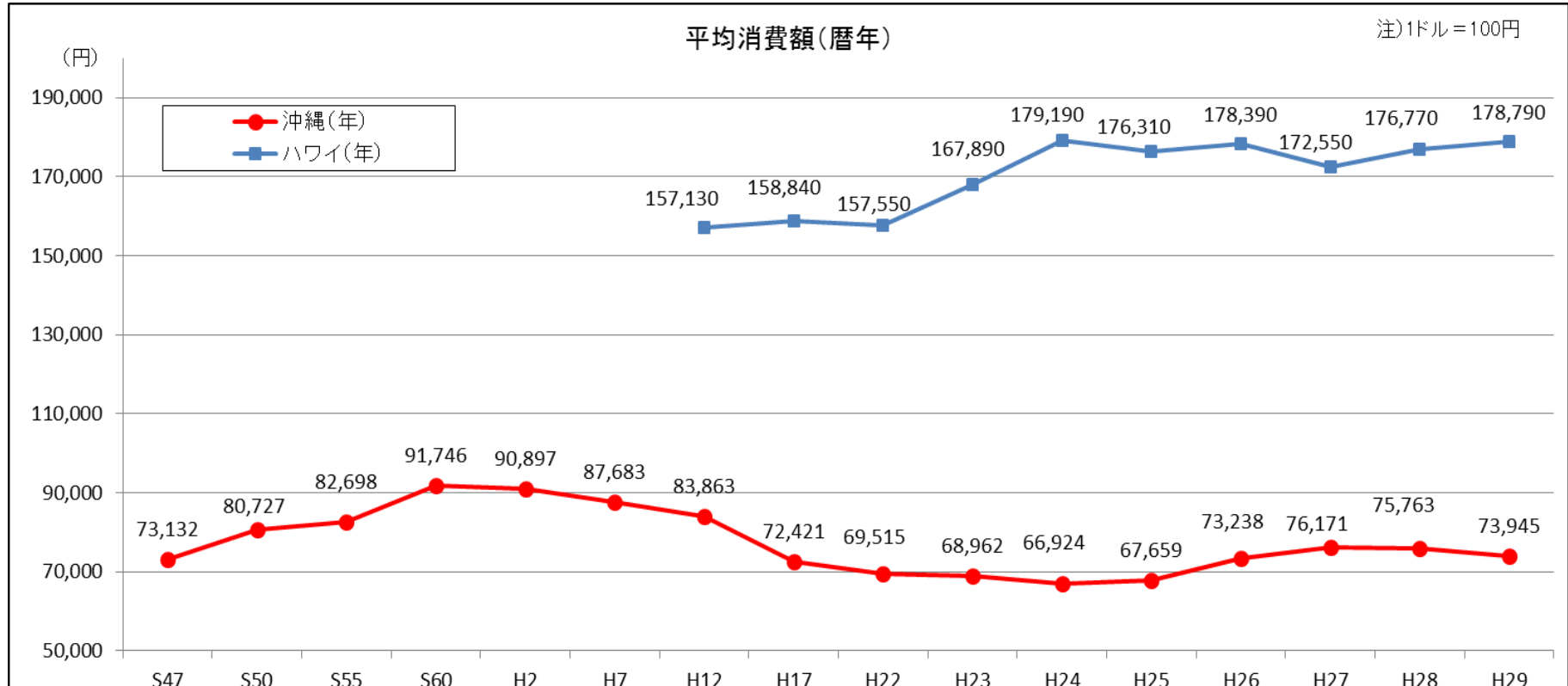
沖 縄 3.75日(平成29年度、国内客のみ)

ハワイ 8.95日(平成29年、うち日本人5.94日)

(注)沖縄県「観光要覧」、「平成29年度の観光収入について」、ハワイ州産業経済開発観光局資料に基づき、沖縄総合事務局作成

②一人当たりの平均消費額

- ・昭和60年の91,746円をピークに長期下落傾向が続いていたが、平成26年以降は7万円台で推移し、平成29年は73,945円。



ハワイと比較した場合、おおよそ半分以下の水準に留まっている。(1ドル=100円換算)

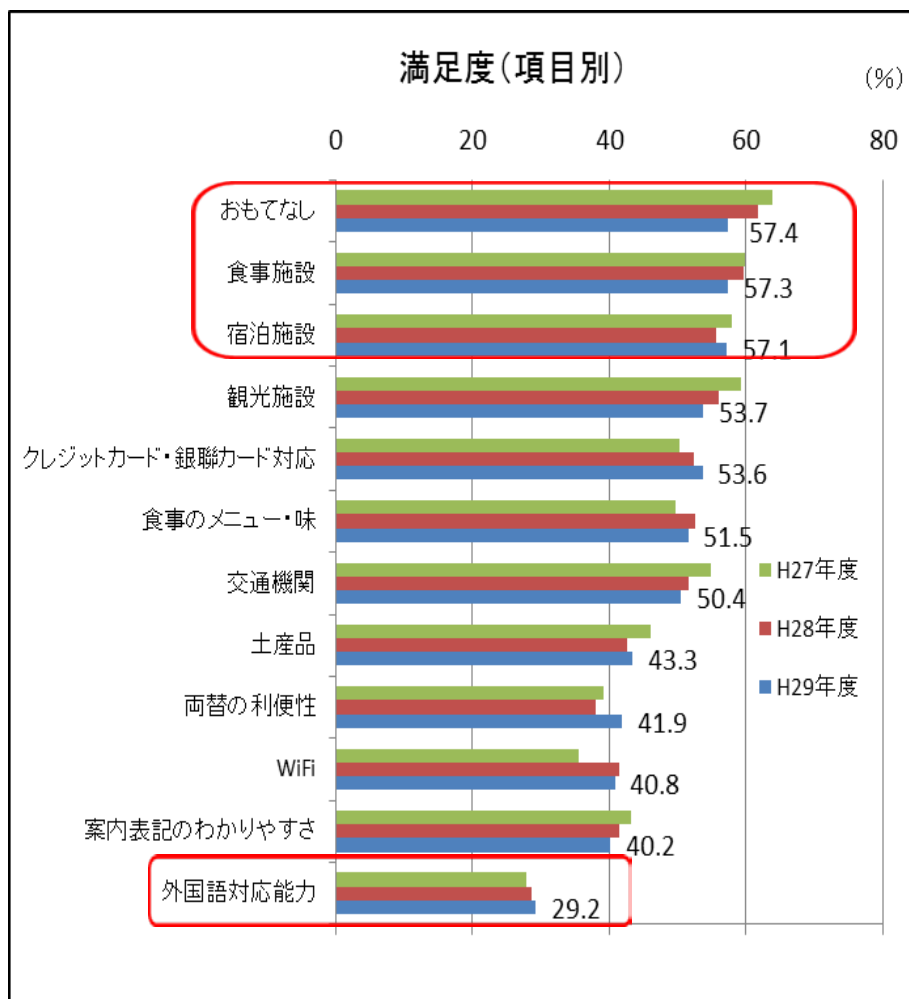
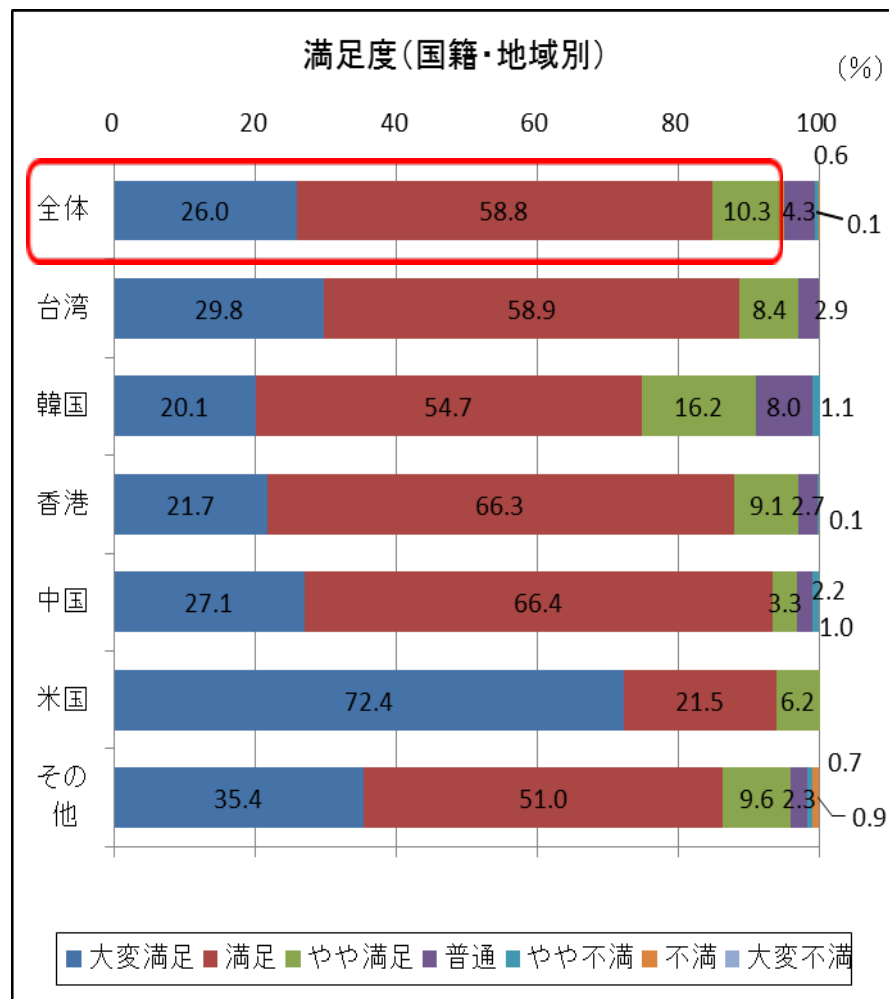
沖縄 73,945円(平成29年)

ハワイ 178,790円 (1,787.9ドル)(平成29年)

うち日本人 141,420円

③外国人観光客の満足度について(平成29年度、空路)

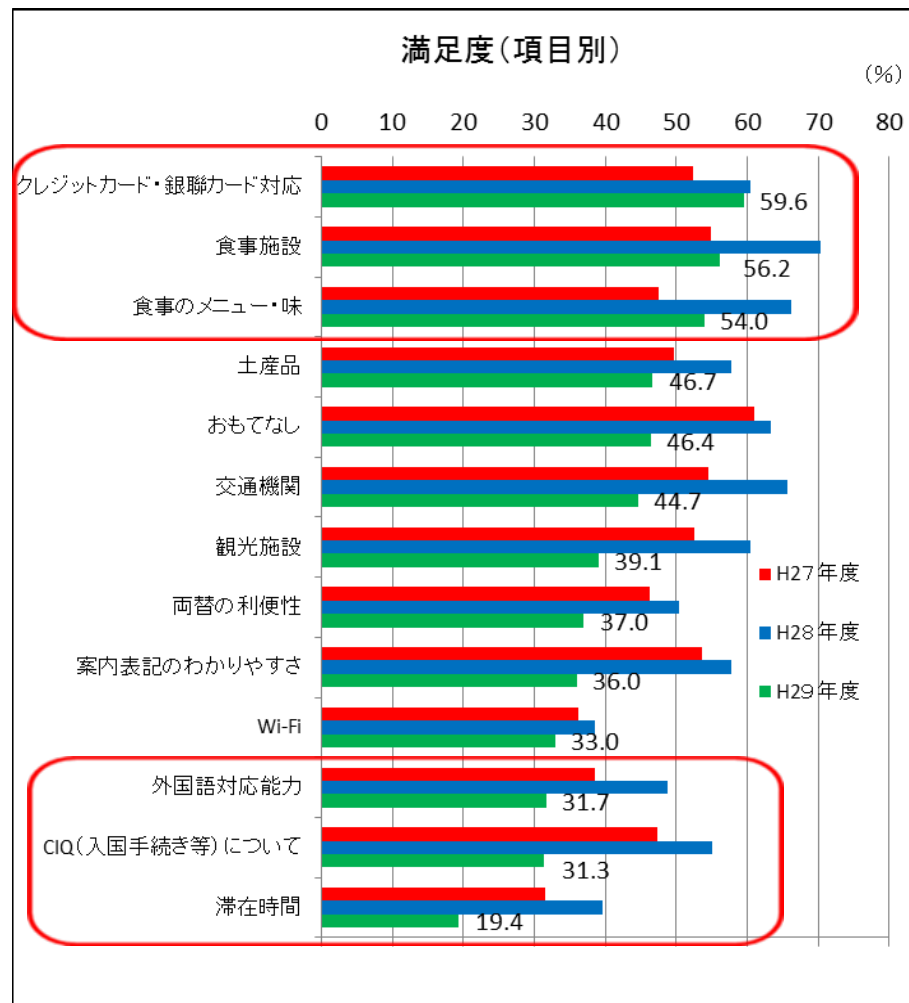
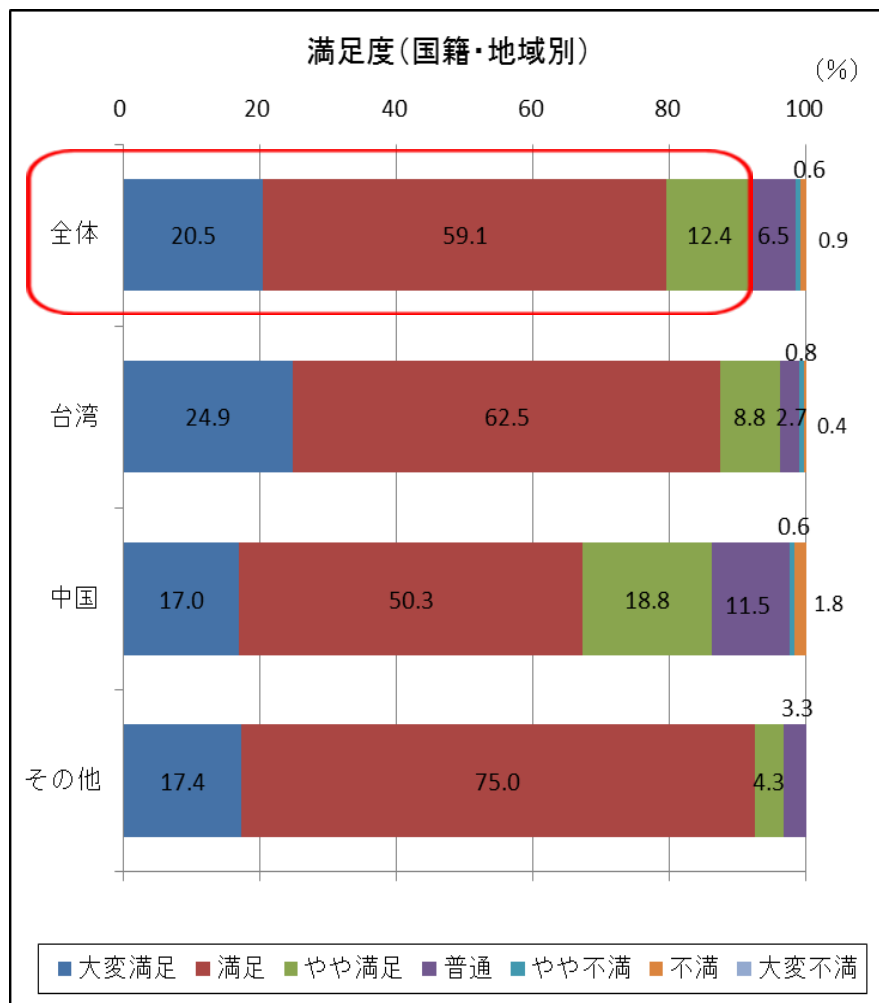
- ・全体の満足度(大変満足～やや満足)は95.1%と高い。
- ・項目別にみると、「おもてなし」、「食事施設」、「宿泊施設」に対する満足度が比較的高い。「外国語対応能力」の満足度が特に低い。



出所: 沖縄県「平成29年度外国人観光客実態調概要報告」に基づき沖縄総合事務局作成
 ※米国はサンプル数が少ないため参考表示

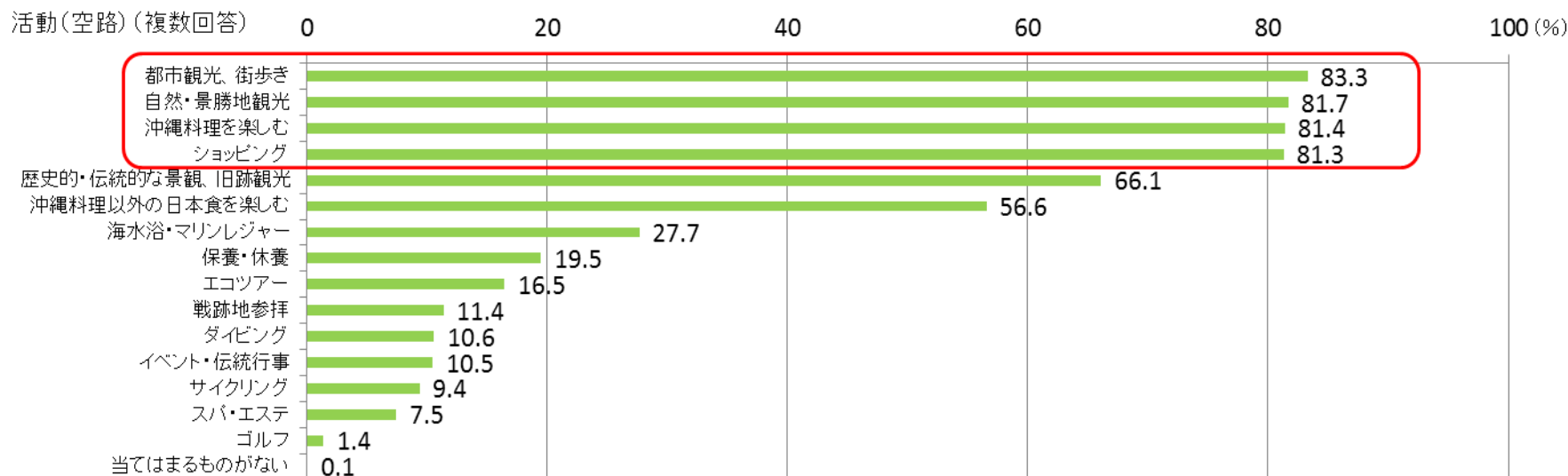
③-2 外国人観光客の満足度について(平成29年度、海路一那覇港)

- ・全体の満足度(大変満足～やや満足)は92.0%。台湾の満足度がやや高い。
- ・項目別にみると、「クレジットカード・銀聯カード対応」、「食事施設」、「食事のメニュー・味」に対する満足度が比較的高い。「滞在時間」、「CIQ(入国手続き等)」、「外国語対応能力」の満足度が低い。



○「外国人観光客の沖縄での活動」について(平成29年度、空路)

・約8割が「都市観光、街歩き」、「自然・景勝地観光」、「沖縄料理を楽しむ」、「ショッピング」を実施している。

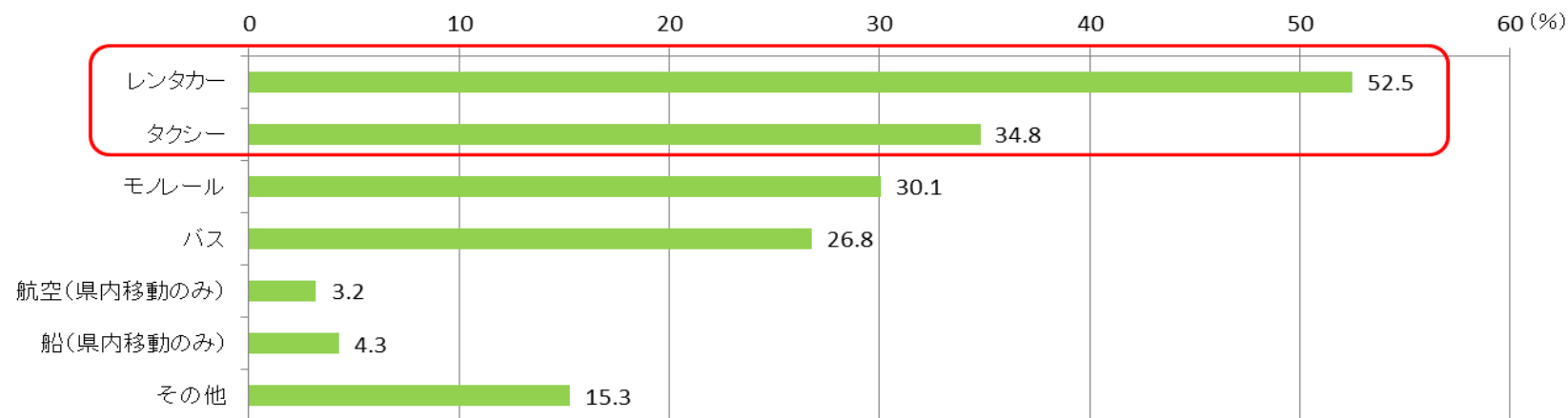


							(%)
	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
都市観光、街歩き	83.3	89.6	80.0	84.3	75.0	76.2	84.0
自然・景勝地観光	81.7	86.0	76.3	85.6	82.3	61.6	81.0
沖縄料理を楽しむ	81.4	84.8	75.1	88.8	81.9	60.2	81.4
ショッピング	81.3	88.1	73.5	82.6	85.2	76.4	74.1
歴史的・伝統的な景観、旧跡観光	66.1	70.0	57.0	69.3	68.4	85.1	77.7
沖縄料理以外の日本食を楽しむ	56.6	59.4	52.0	60.8	51.8	60.2	67.0
海水浴・マリンスポーツ	27.7	22.3	32.7	29.0	30.6	47.4	19.2
保養・休養	19.5	7.4	37.4	10.5	6.1	38.9	41.3
エコツアー	16.5	25.5	6.0	26.6	6.0	30.1	23.4
戦跡地参拝	11.4	17.9	4.2	16.0	1.9	62.2	19.0
ダイビング	10.6	11.9	6.2	18.4	10.5	15.3	9.7
イベント・伝統行事	10.5	13.6	7.8	9.7	5.3	23.8	19.5
サイクリング	9.4	9.7	3.3	29.8	2.8	15.1	12.0
スパ・エステ	7.5	4.5	13.3	5.5	3.1	0.0	9.2
ゴルフ	1.4	1.5	1.9	0.9	0.8	0.0	0.7
当てはまるものがない	0.1	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0	0.7

○外国人観光客の交通機関の利用について(平成29年度、空路)

- ・全体では「レンタカー」が52.5%と最も多く、次いで「タクシー」、「モノレール」と続いている。
- ・国籍・地域別では、個別手配やフリープラン型パッケージ旅行の利用が多い韓国、香港で「レンタカー」の利用率が高く、観光つきのパッケージ旅行の利用が多い中国で「タクシー」、「モノレール」「バス」の利用率が高い。

交通機関(複数回答)



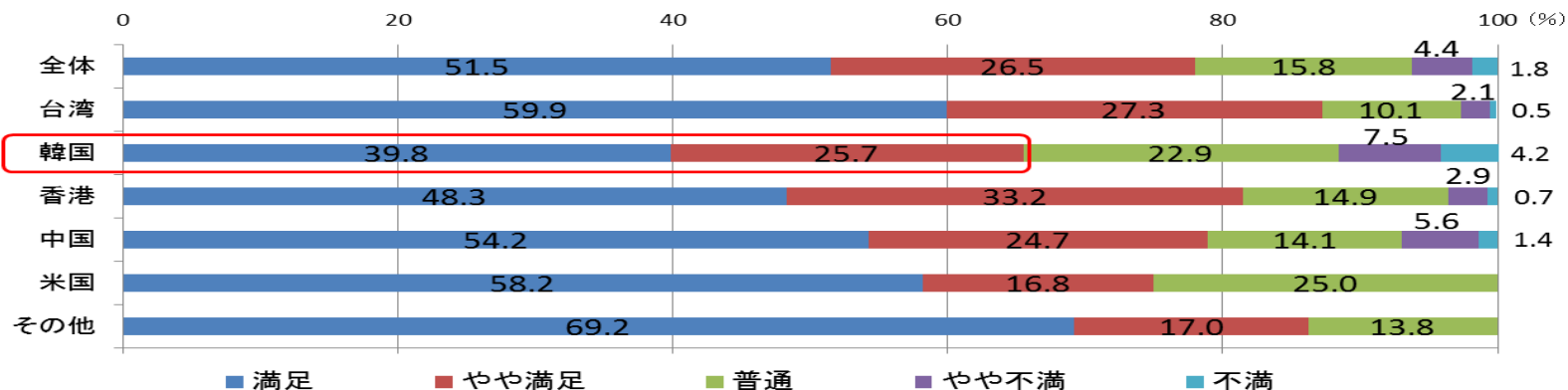
(%)

	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
レンタカー	52.5	53.5	66.1	61.5	14.5	13.8	52.6
タクシー	34.8	36.6	17.4	36.2	65.1	65.3	36.3
モノレール	30.1	38.8	17.8	21.9	41.2	31.4	37.9
バス	26.8	31.0	16.5	28.1	37.4	37.6	28.9
航空(県内移動のみ)	3.2	2.2	2.0	4.2	4.2	0.0	11.2
船(県内移動のみ)	4.3	3.9	1.8	10.3	5.0	7.6	5.1
その他	15.3	22.5	8.6	20.6	7.1	0.0	22.4

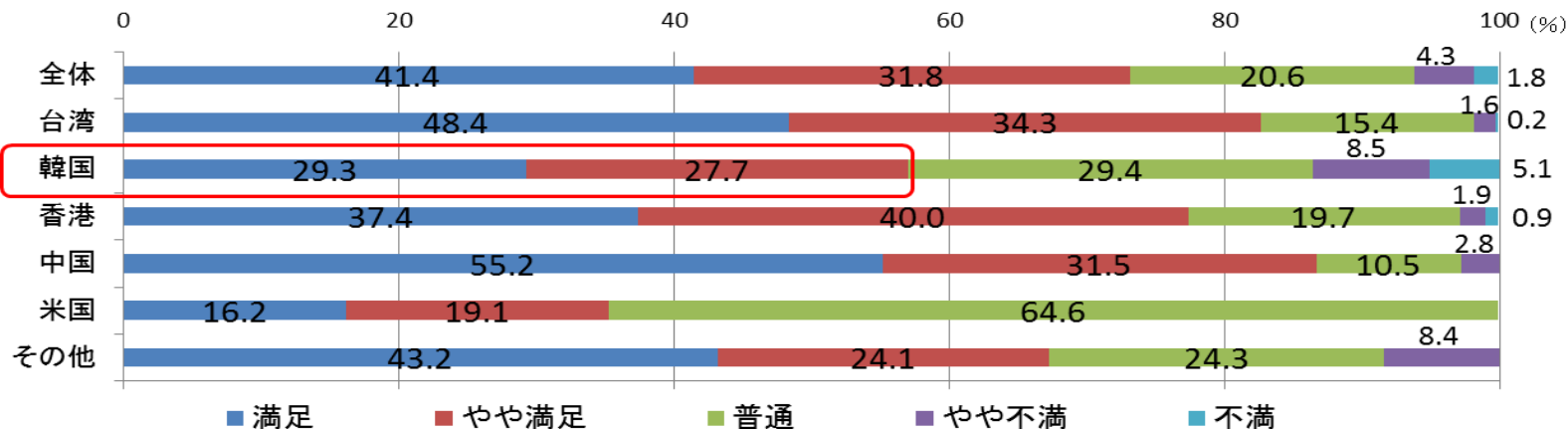
○外国人観光客の「交通機関の満足度」及び「案内標記のわかりやすさの満足度」について (平成28年度、空路)

- ・交通機関については、台湾、香港で満足度が高く、韓国(65.5%)が低い。
- ・案内標記のわかりやすさについては、韓国(57.0%)の割合が低い。

図表 1-37 交通機関の満足度(国籍・地域別)



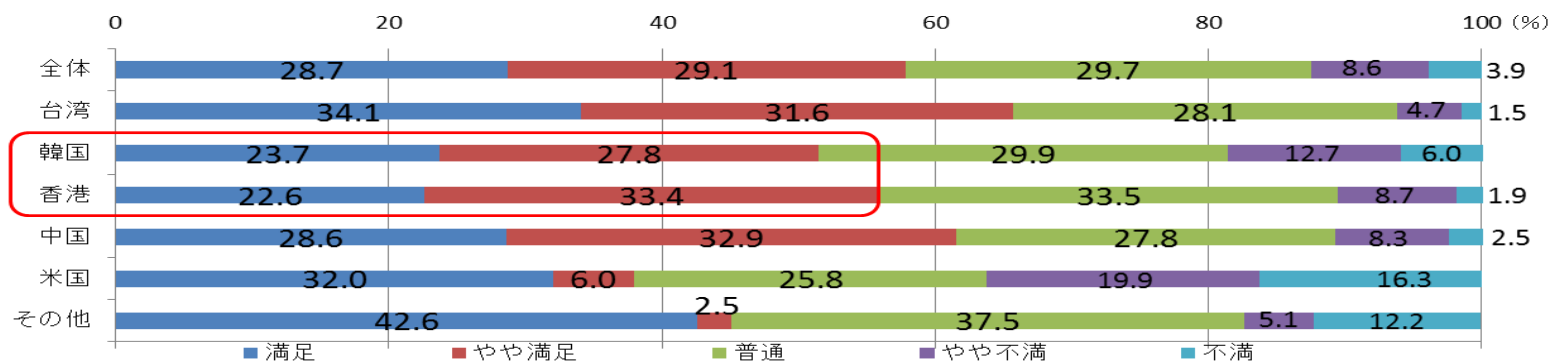
図表 1-41 案内標記のわかりやすさの満足度(国籍・地域別)



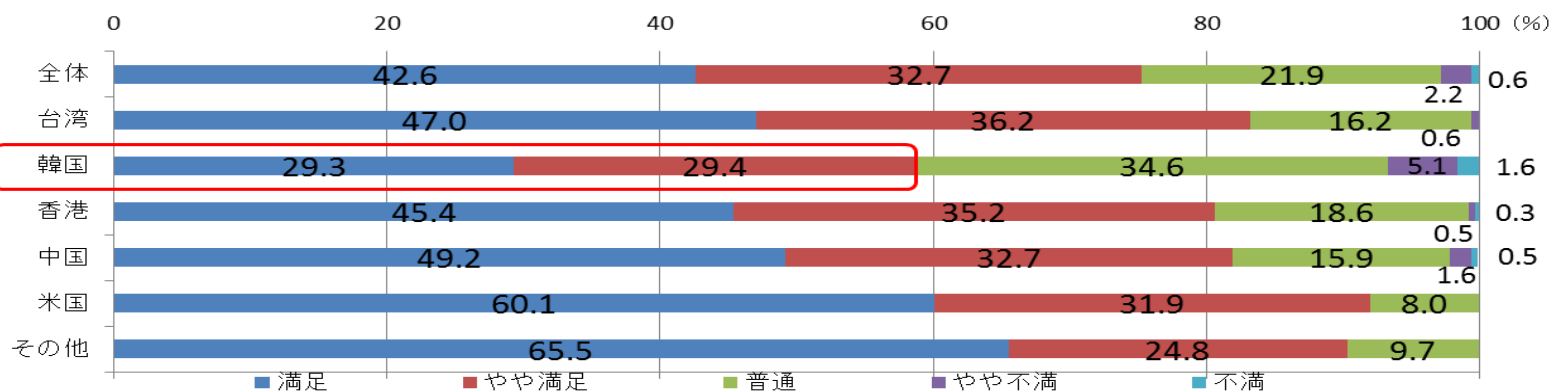
○外国人観光客の「外国語対応能力の満足度」及び「土産品の満足度」について(平成28年度)

- ・外国語対応能力については、全体的に満足度が低い傾向にあり、特に、香港、韓国の満足度の割合が低い。
- ・土産品については、満足度が75%。韓国の割合が比較的低い(58.7%)。

図表 1-40 外国語対応能力の満足度(国籍・地域別)



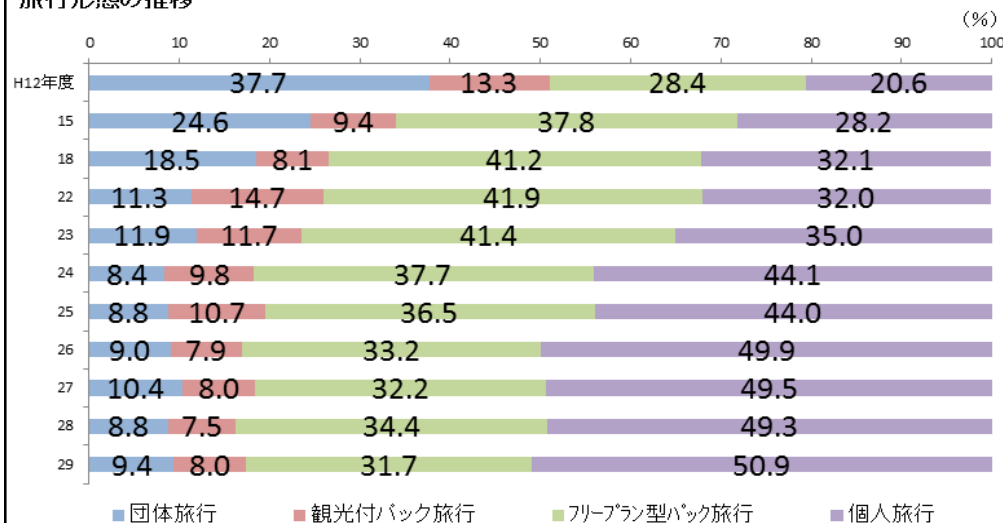
図表 1-38 土産品の満足度(国籍・地域別)



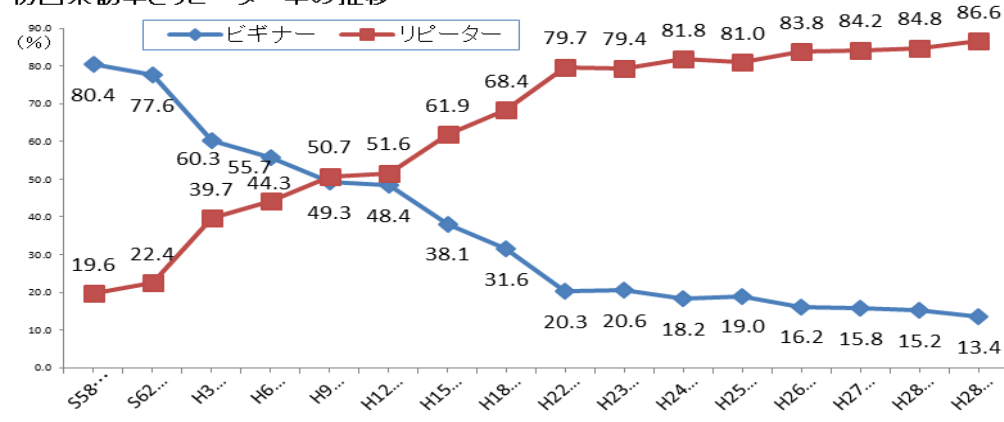
④観光スタイルの変化、目的等(国内客)

- ・年々、団体旅行が減少し、個人旅行が増加している。
- ・旅行内容の消費者ニーズは多様なニーズがある。

旅行形態の推移



初回来訪率とリピーター率の推移



旅行内容別推移

	(単位: %)						
活動内容(複数回答)	H12年度	H15年度	H18年度	H21年度	H24年度	H27年度	H29年度
観光地めぐり	73.7	72.1	68.4	61.3	60.1	56.0	58.2
保養・休養	22.2	17.6	16.8	26.1	25.3	28.1	29.1
海水浴・マリンスポーツ	45.6	34.1	27.4	25.2	24.5	28.0	24.2
ダイビング	9.3	8.7	7.9	8.7	9.5	7.6	6.4
ゴルフ	4.8	4.1	4.4	3.8	3.9	4.7	4.0
釣り	2.9	1.7	1.9	1.2	1.5	1.7	1.9
スパ・エステ	-	-	3.8	3.4	3.6	3.5	2.9
スポーツ大会等	1.8	1.5	1.7	1.5	0.8	1.5	1.1
エコツアー	-	1.4	1.4	1.8	2.3	1.5	1.3
伝統工芸・芸能体験	-	-	-	6.1	6.2	7.3	6.9
ショッピング	33	44.4	33.4	26.7	23.9	22.7	27.3
戦跡地参拝	19.8	16.3	12.2	9.9	9.5	10.2	6.9
沖縄料理を楽しむ	-	-	38.8	38.1	39.1	41.9	40.7
イベント・伝統行事等	4	4	4.6	3.3	4.6	4.5	4.9
新婚旅行	-	1.3	1.5	1.6	1.3	1.5	1.2
ウエディング	-	1.3	2.1	2.4	2	2.9	2.4
帰省・親戚等訪問	11	6.3	6.6	4.6	5.5	4.8	5.1
会議・研修	9.8	6.6	6.4	7.2	6.8	6.2	10.2
仕事	8	11	11.6	11.1	10.1	12.2	14.9
プロスポーツキャンプ見学	-	-	-	-	-	3.6	3.2
その他	3.9	4.9	3.6	5.7	7.5	4.5	4.9

※出所: 沖縄県「観光統計実態調査」

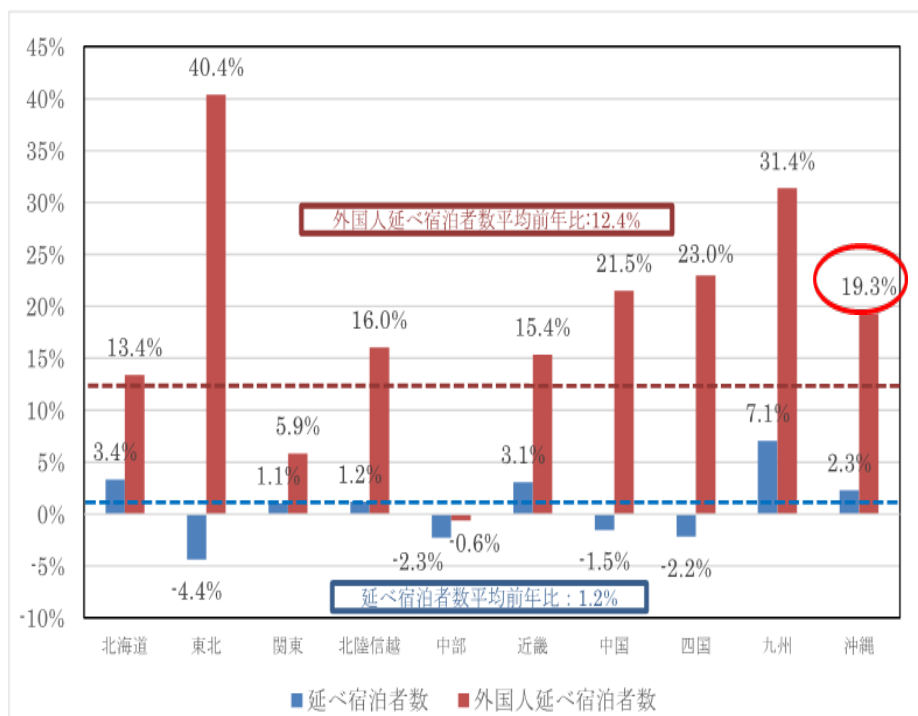
※H12年度H15年度、H18年度は航空機内で行った大規模調査による数値

(6)国内地域と比較した沖縄観光の動向①

○外国人延べ宿泊者数

- ・前年比を地方ブロック別にみると、沖縄は19.3%増と全国平均(12.4%増)を上回る伸びとなった。他の地方を見ると、東北、九州が高い伸びとなっている。
- ・国・地域別にみると、沖縄には、韓国、台湾、中国からの来訪が多い。他の地方を見ると、中国からは北海道・関東・中部・近畿、韓国からは九州、台湾からは東北等の4地方で最も高い比率を占めた。

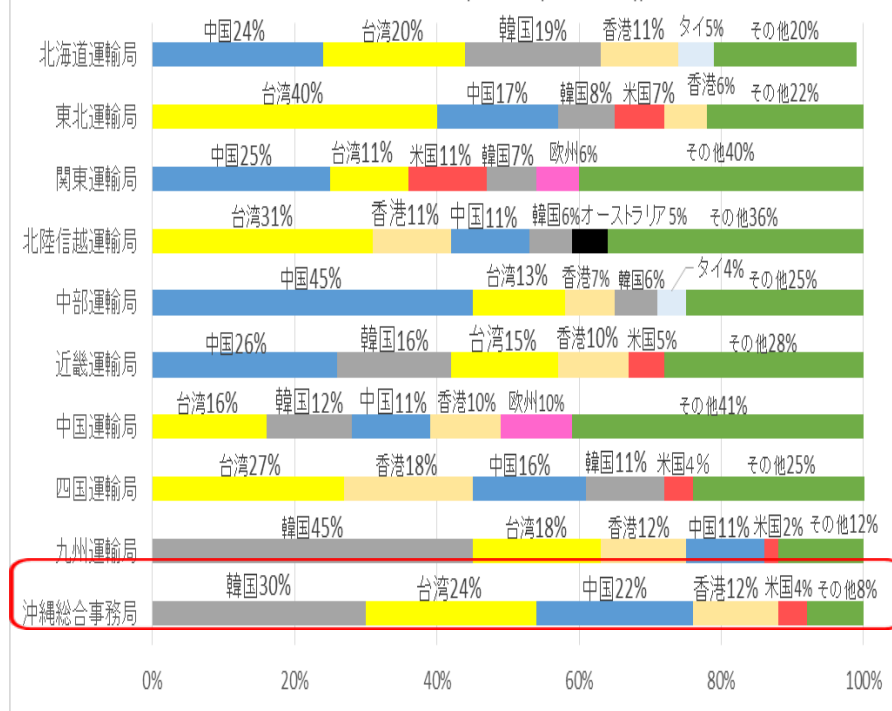
(図表 I -43)延べ宿泊者、外国人延べ宿泊者数の
地方ブロック別対前年比(2017年(平成29年))



資料: 観光庁「宿泊旅行統計調査」

注1: 2016年(平成28年)の確定値と2017年(平成29年)の速報値を比較した。

地方ブロック別外国人延べ宿泊客の
国・地域別構成比(2017年(平成29年))



注1: 欧州は英国・フランス・ドイツの3カ国

注2: 速報値

(6)国内地域と比較した沖縄観光の動向②

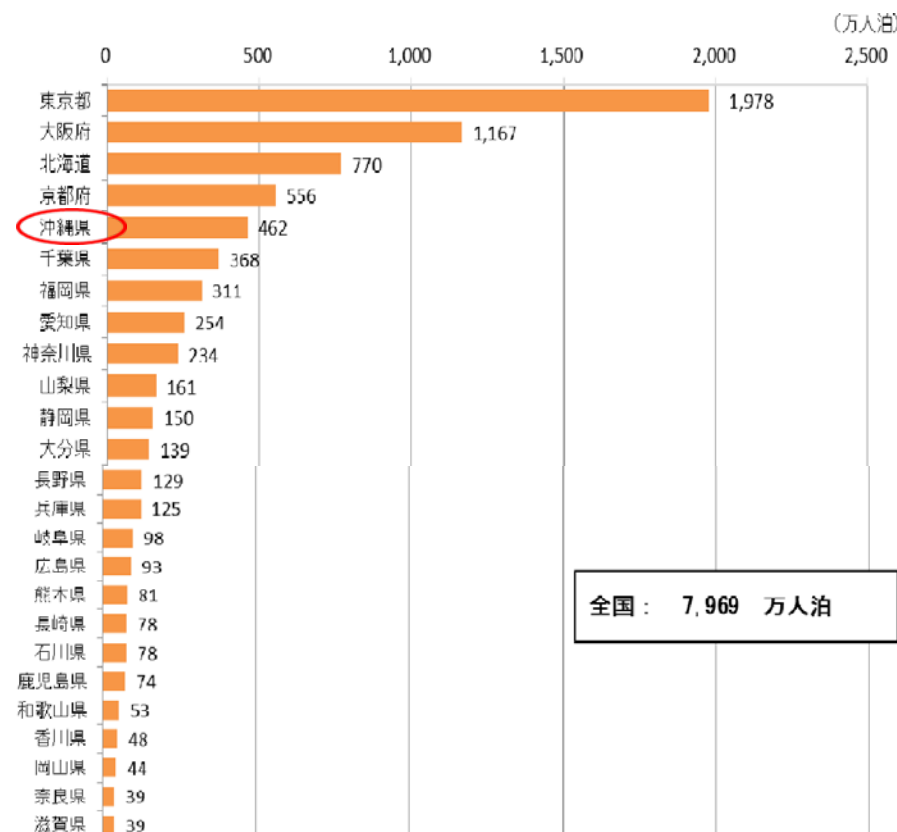
○延べ宿泊者数(平成29年)

- ・全国の延べ宿泊者数は5億960万人泊、うち沖縄県は2,169万人泊で全国で5位(前年6位)
- ・全国の外国人延べ宿泊者数は7,969万人泊、うち沖縄県は462万人泊で、全国で5位(前年5位)
- ・外国人延べ宿泊者数の全体に占める割合は、沖縄県(21.3%)は全国(15.6%)より高い。

都道府県別延べ宿泊者数(平成29年(確定値、上位25県))



都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成29年(確定値、上位25県))



(6)国内地域と比較した沖縄観光の動向③

○消費税免税店の数(平成30年4月1日時点)

- ・全国では44,646店となり、半年間で1,855店(4.3%)増加
- ・沖縄県では931店となり、半年間で33店(3.7%)増加

免税店数の推移



消費税免税店(輸出物品販売場)の都道府県別分布(2018年4月1日現在)

	店舗数		増加数	対前回比率
	2017.10.1	2018.4.1		
札幌国税局	2,389	2,457	68	102.8%
北海道	2,389	2,457	68	102.8%
仙台国税局	1,556	1,658	102	106.6%
青森	178	186	8	104.5%
岩手	145	159	14	109.7%
宮城	799	823	24	103.0%
秋田	106	107	1	100.9%
山形	144	164	20	113.9%
福島	184	219	35	119.0%
関東信越国税局	3,001	3,183	182	106.1%
茨城	409	419	10	102.4%
栃木	334	337	3	100.9%
群馬	217	231	14	106.5%
埼玉	1,254	1,320	66	105.3%
新潟	297	353	56	118.9%
長野	490	523	33	106.7%
東京国税局	15,926	16,718	792	105.0%
千葉	2,209	2,288	79	103.6%
東京	11,038	11,656	618	105.6%
神奈川	2,459	2,541	82	103.3%
山梨	220	233	13	105.9%

	店舗数		増加数	対前回比率
	2017.10.1	2018.4.1		
金沢国税局	864	881	17	102.0%
富山	345	350	5	101.4%
石川	450	461	11	102.4%
福井	69	70	1	101.4%
名古屋国税局	3,492	3,618	126	103.6%
岐阜	346	355	9	102.6%
静岡	915	935	20	102.2%
愛知	1,759	1,820	61	103.5%
三重	472	508	36	107.6%
大阪国税局	8,375	8,654	279	103.3%
滋賀	333	338	5	101.5%
京都	1,574	1,621	47	103.0%
大阪	4,586	4,769	183	104.0%
兵庫	1,468	1,513	45	103.1%
奈良	223	223	0	100.0%
和歌山	191	190	-1	99.5%
広島国税局	1,427	1,505	78	105.5%
鳥取	104	112	8	107.7%
島根	67	71	4	106.0%
岡山	430	438	8	101.9%
広島	689	736	47	106.8%
山口	137	148	11	108.0%

	店舗数		増加数	対前回比率
	2017.10.1	2018.4.1		
高松国税局	595	615	20	103.4%
徳島	75	82	7	109.3%
香川	217	216	-1	99.5%
愛媛	187	199	12	106.4%
高知	116	118	2	101.7%
福岡国税局	2,931	3,004	73	102.5%
福岡	2,291	2,345	54	102.4%
佐賀	210	218	8	103.8%
長崎	430	441	11	102.6%
熊本国税局	1,337	1,422	85	106.4%
熊本	401	425	24	106.0%
大分	361	381	20	105.5%
宮崎	165	179	14	108.5%
鹿児島	410	437	27	106.6%
沖縄国税事務所	898	931	33	103.7%
沖縄	898	931	33	103.7%
合計	42,791	44,646	1,855	104.3%

2018年4月1日現在: 国税局所管地域別(国税庁集計)

(6)国内地域と比較した沖縄観光の動向④

○国際会議開催件数

- ・2017年に日本で開催された国際会議は、対前年比4件増で過去最高の414件となり、昨年と同じく世界7位、アジア・太平洋地域では1位となった。
- ・沖縄県で開催された国際会議は13件で、前年と同数であった。

2017年			2016年		
順位	国名	件数	順位	国名	件数
1位	アメリカ	941	1位	アメリカ	934
2位	ドイツ	682	2位	ドイツ	689
3位	イギリス	592	3位	イギリス	582
4位	スペイン	564	4位	フランス	545
5位	イタリア	515	5位	スペイン	533
6位	フランス	506	6位	イタリア	468
7位	日本	414	7位	日本	410
8位	中国	376	7位	中国	410
9位	カナダ	360	9位	オランダ	368
10位	オランダ	307	10位	カナダ	287

2017年				2016年			
順位	都市名	件数	世界順位	順位	都市名	件数	世界順位
1位	東京	101	18	1位	東京	95	21
2位	京都	46	50	2位	京都	58	44
3位	名古屋	25	104	3位	大阪	25	100
4位	札幌	24	108	4位	福岡	23	111
5位	大阪	17	156	5位	横浜	21	120
5位	福岡	17	156	5位	神戸	21	120
7位	横浜	16	165	7位	札幌	17	152
8位	金沢	14	193	8位	名古屋	16	160
—	沖縄県	13	—	9位	奈良	15	169
9位	千葉	12	228	—	沖縄県	13	—
10位	つくば	11	248	10位	仙台	13	203
11位	神戸	10	266	11位	広島	9	279
12位	広島	8	299	12位	金沢	8	301
12位	北九州	8	299	13位	北九州	7	324
14位	仙台	7	325	14位	つくば	6	357
14位	奈良	7	325	15位	千葉	5	392
14位	岡山	7	325	15位	松江	5	392

※沖縄県分は、2015年の統計まで県全体の件数により公表、順位付けされていたが、2016年の統計から市町村別等の件数へと変更されたため、2016年以降の順位は「—」としている(2017年の13件の内訳:那覇市4、恩納村3、宜野湾市2、名護市2、石垣市1、沖縄市1)。

※東京は23区内の件数。